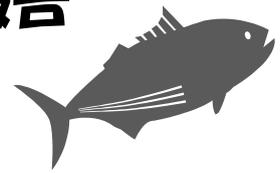


# 令和7年度 焼津市自治基本条例

## まちづくり市民集会・大ワールドカフェの報告



令和7年 12月 13日(土)開催

焼津市自治基本条例 まちづくり市民集会実行委員会

### 実行委員会からの報告 ～第12回 まちづくり市民集会～

令和7年 12月 13日(土) 焼津文化会館小ホールにて「まちづくり市民集会」を開催しました。

一般参加の市民、学生の方をはじめ、自治会関係の方、市長、市議会議員、市職員等、10代から80代の多様な世代・立場から143名の方々にご参加いただきました。

前回、焼津市自治基本条例制定から10年を迎え、新たな節目として変化もあった中でしたが、試行錯誤を重ねながら開催まで至ることができました。改めてこれまでまちづくり市民集会に関わっていただいた全ての皆様にお礼を申し上げます。

実行委員会では振り返りの話し合いを行い、市民・議会・行政の皆さんと共有するため、本報告にまとめました。市民集会でいただいた参加者の想いを、ぜひ今後のまちづくりに生かせるようなヒントとしていただければと思います。

#### ●テーマ「語ろう LOVE やいづ 広げよう LOVE やいづ」

焼津市自治基本条例に基づき開催しているこの市民集会は、参加者同士の意見交換・情報共有を目的としています。

今回のテーマの検討にあたり、実行委員会内では多くの案が出ました。誰もが話やすいテーマであること、参加者それぞれがまちづくりを「自分ごと」として考え、小さなことでも自分にできることを見つかけられるような話題であることが大事であると考え、本テーマを設定しました。

当日は、「LOVE やいづ = 自分が思う焼津の魅力」を共有し、イチオシの魅力を広げ伝えていく方法を考えてみようという趣旨のもと、たくさんの意見が交わされました。



#### ●協賛ブース・ウェルカムドリンク

今年も実行委員のメンバーの働きかけにより、多くの事業所様から「焼津の魅力」をご提供いただくことができました。飲み物やお菓子、焼津の特産品を楽しみながら和やかな雰囲気の中で市民集会は進みました。協賛いただいた事業所の皆様に改めて感謝申し上げます。



## ●話題提供～グループワークのヒントに～

今回は、魅力の共有から発信の方法までを考えようというテーマでした。そのため、毎回グループワークの前に行う話題提供では、広報のプロ3名によるトークセッションを行いました。市民目線・企業目線・行政目線で、それぞれの立場から活動の内容や情報発信の手法について語っていただきました。

自分に何ができるかを考えるヒントとして、グループワークに繋がるお話を聞くことができました。



## ●グループワークでは

21のグループからたくさんの素晴らしい魅力と、それを広げる・伝える方法が提案されました。

魅力では、海や魚、高草山、さかなセンターやターントクルこども館をはじめとした施設のほか、「人のあたたかさ」や「つながり」といった目に見えない魅力も多く挙がりました。

どう広げていくのかという発信方法のワークでは、SNSの活用という意見が多く出ました。ただ漠然とSNSを活用すればよいということではなく、ツールは何を使うか、内容はどうするかなど、具体的な手法まで考えているグループも多く、すぐに行動に移すことができるのではと感じました。その他にも、「口コミ」から「企業とコラボしたイベント開催」まで、幅広い提案がなされました。

各グループのイチオシの魅力・発信方法は、別紙にてまとめています。

イチオシ以外にもたくさんの魅力が挙げられました。それらをAIツールでまとめたものが次のページの図です。



みなさん積極的に、和気あいあいとした雰囲気の中でグループワークを行いました



●今後も「まちづくり市民集会」へのさらなるご参加・ご支援をお願いします。

10代から80代の様々な世代・立場の参加者が同じテーブルにつき、「LOVE やいづ」について語り合いました。みなさんたいへん積極的で、これまでの市民集会の積み重ねの成果だと感じました。

まちづくり市民集会は、いろいろな意見を聴き、話すことで参加者に“気づき”や“交流”が生まれることを目的にしています。自分事として持ち帰っていただき、何か行動を起こすきっかけになってくれればうれしく思います。

この市民集会は、全国的にも稀少な焼津のまちづくりの資源です。市民の手づくりの「まちづくり市民集会」を継続していくことで、「対話の文化」として定着・成熟していけるよう、市民・議会・行政のさらなるご参加とご支援を引き続きお願いするとともに、今回の市民集会で出た意見につきましても、まちづくりのヒントとして受け取っていただけますと幸いです。



最後はみんなでハイタッチ 🙌